

平成二十一年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特選

(三句)

車椅子寄せ合ひ花下に笑ひあふ

大阪府吹田市

大城 啓子

【評】

座五「笑ひあふ」が具象的に内容的でいい。この趣向の句は多いが、写実を貫いてよく情緒を振り切った。

花の名のひらのなでしこ捜し当り

兵庫県西宮市

城尾たか子

【評】

「捜し当り」で俳句になり新鮮味が出た。中七の品種名をひら仮名書きにした効果もありその巧みを頂く。

雨もまた情添ふ花の通り抜け

大阪府堺市

徳澤 彰子

【評】 一見等類性は感じられるかも知れぬが、「情添ふ」の表現を得て一気に蘇った。「花の」も冗長でない。

入
選

(五句)

花吹雪思はず誰も立ちどまる

滋賀県大津市

小嶋 芳雄

散る桜散らぬ桜はないものか

和歌山県有田市

佐山 直美

車椅子さきだてて観るさくらかな

大阪府大阪市

富田 栄子

満開の平野撫子てふ桜

大阪府大阪市

暮れ色となる花の色花の影

兵庫県神戸市

山口 甲村

西畑 敦子

佳作

(二五句)

源八橋渡りて花の通り抜け

兵庫県三田市

石塚 春美

ひとひらの落花レンズを横切りけり

大阪府大阪市

大鹿 正男

なにはびとぼつちやり重いはなをめで

大阪府寝屋川市

大西 孝雄

車いすゆるゆると押す通りぬけ

大阪府交野市

薫 風

慎ましく生きて桜の候迎ふ

大阪府大東市

川北 英二

八重桜今年の花として盛り

兵庫県西宮市

戎 宮水

ひかりつつ花ちることのしづかなり
大阪府堺市

熊本 巖

街の灯の水に華やぐ夕桜
兵庫県西宮市

小西 彌生

うらうらと平野撫子盛りなり
大阪府大阪市

坂本美保子

一じんの風に落花のまたよけれ
大阪府大阪市

澤田 晃男

土砂降りの花人となる通り抜け
奈良県生駒市

塩川 雄三

川風の誘ふ落花を浴びにけり
大阪府富田林市

鈴木 昭子

花疲れたつぷり叩く化粧水
香川県善通寺市

高嶋 敦子

今年花平野撫子映えにけり
奈良県奈良市

高橋 慈雲

川波に足浸しゐるさくらかな
大阪府大東市

椿 静代

風やめど花のそよぎのなすとせず
兵庫県神戸市

出店智恵呼

八重桜我が口紅の色に欲し

大阪府大阪市

西村 道子

遅ざくら恋のはじまる予感して

大阪府吹田市

初坂 宣子

ひとり来てひとりで帰る通り抜け

兵庫県明石市

濱口 宏子

音もなく桜葉降る膝の上

大阪府大阪市

林 弘子

開門を待つ花人や通り抜け

大阪府大阪市

細川 紫雲

曳き舟に空の砂利船夕桜

大阪府大阪市

堀脇 昌子

満開の桜に固き蕾かな

兵庫県尼崎市

津山 美江

花吹雪双手でそつと包みこむ

大阪府大阪市

村田 照枝

通り抜けおさないころにも来たと言う

大阪府高槻市

森 あすか

選者吟

辻田 克巳

花万朶高天も風なき如し

花曇予報に晴とありながら

千分の一の花人われ歩く

花愛づる感嘆詞らし中国語

幹囲むやうに花屑円をなす